



令和5年度  
郷土愛を育み未来の人材を育成する  
地域協働プロジェクト  
成果報告書



令和6年3月  
鹿児島県教育委員会

# 目 次

刊行に当たって

## I 令和5年度郷土愛を育み未来の人材を育成する地域協働プロジェクト 実施要項

## II 実施報告

### 1 実施校：鹿児島県立穎娃高等学校・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1

プ ラ ン	穎娃高コミュニティ～ゆい～ ～地域の未来を切り拓く人材育成プロジェクト～
概 要	南九州市の基幹産業である「茶業」をテーマに設定し、コンソーシアムによる課題解決型学習を通じて、地域社会に対して主体的に考え行動できる人材の育成を図るとともに、地域貢献活動を通じて地域における高校の機能強化を図る。
協 働 先	南九州市役所 茶業課，南九州市役所 企画課，南九州市商工会 穎娃地区，えいのゴッソイまつり実行委員会，tottoco，有限会社 小磯製茶，有限会社 グリーンティ折尾，はるとなり，一般社団法人アソビシロ，有限会社 浜田茶業，崇城大学，株式会社 いせえび荘，りんふあーむ，野菜菓工房 楓fu-，Le. plan. de. AK，NPO法人 いっしょき宮脇

### 2 実施校：鹿児島県立鹿児島水産高等学校・・・・・・・・・・・・・・・・ P 16

プ ラ ン	高校生がTSUNAGU南さつまの海 ～おとひめの結プロジェクト～
概 要	県内唯一の水産高校が地域と連携し、地球温暖化の影響や海の砂漠化と言われる「磯焼け」の現象について調査や研究を行うことにより、郷土の豊かな海づくりに協力し、郷土の海の豊かさを守り育てる意識の高い人材を育成する。
協 働 先	南さつま市役所産業おこし部商工水産課，南薩地域振興局林務水産課 坊泊漁業協同組合，笠沙町漁業協同組合，加世田漁業協同組合，鹿児島県漁業協同組合南さつま久志支所，玉川大学農学部

3 実施校：鹿児島県立隼人工業高等学校・・・・・・・・・・・・・・・・ P 30

プラン	新時代を切り拓く地域融合型人材育成プロジェクト ～ コンソーシアムパーク隼人 ～
概要	行政と教育機関，産業界を中心とした産学公の連携・協働により，地域と一体となった魅力ある高校づくりに取り組むことで，活力ある地域づくりに貢献するとともに，郷土への誇りや愛着を醸成し，その良さを発信できる人材を育成する。
協働先	株式会社藤田ワークス，マイクロカット株式会社，ヤマグチ株式会社株式会社ワイテック，国分電機株式会社，ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社，株式会社HAB&C o.，株式会社飯塚製作所，第一工科大学，KCS鹿児島情報専門学校，霧島市立牧園中学校，霧島市立日当山中学校，霧島市立隼人中学校，南日本新聞社霧島総局，鹿児島モノづくり推進協議会事務局，霧島市市民環境部国民体育大会推進課，霧島市役所商工観光部商工振興課

4 実施校：鹿児島県立福山高等学校・・・・・・・・・・・・・・・・ P 44

プラン	福山みらい創業塾 ～現代・郷中教育による未来の人材育成プロジェクト～
概要	産業界や行政等とコンソーシアムを構築し，中山間地域特有の課題を，フィールドワークや，オンラインによるワークショップを活用した高大接続による学習を進めることで，自発的で創造的な思考を持つ人材の育成に努める。
協働先	株式会社トヨタ車体研究所，株式会社ロコモーション，株式会社シナプス，慶應義塾大学，一般社団法人域産官学共創機構，都城図書館，株式会社ベガハウス，霧島市福山総合支所，鹿児島県立曾於高校，鹿児島女子短期大学，宮崎県立都城西高校，公益財団法人松下美術館，坂元醸造株式会社，佳例川公民館，合資会社伊達醸造，Photo Office アイプラス，神話の里 文化・芸術育成アソシエーション，一般社団法人アンカー

## 刊行に当たって

近年、グローバル化の急激な進展や人口減少や、少子高齢化の著しい進行により、コミュニティの崩壊、産業の衰退、文化の消滅などが懸念されており、鹿児島県の発展のためには、伝統や文化を尊重し、それらを育ててきた郷土を愛する態度を養うとともに、将来の鹿児島を担う人材を育成することが求められています。

こうしたことから、県教委では、令和3年度より「郷土愛を育み、未来の人材を育成する地域協働プロジェクト」を実施しています。

本事業は、地域振興の核としての高校の機能強化と、郷土への誇りや愛着を醸成し、郷土を担い、その良さを発信する人材の育成を支援するもので、今年度は穎娃高校、鹿児島水産高校、隼人工業高校、福山高校の4校を指定しました。

穎娃高校では、普通科・機械電気科において、「穎娃高コミュニティ～ゆい～」をテーマとして、南九州市の基幹産業である「茶業」を課題に設定し、コンソーシアムによる課題解決型学習を通じて、地域社会に対して主体的に考え行動できる人材の育成を図るとともに、地域貢献活動を通じて地域における高校の機能強化を図る取組を行いました。

鹿児島水産高校では、海洋科において、「高校生がTSUNAGU南さつまの海」をテーマとして、地域と連携し、地球温暖化の影響や海の砂漠化と言われる「磯焼け」の現象についての調査や研究活動を通して、郷土の豊かな海づくりに協力し、郷土の海の豊かさを守り育てる意識の高い人材の育成に取り組みました。

隼人工業高校では、インテリア科・電子機械科・情報処理科において、「新時代を切り拓く地域融合型人材育成プロジェクト」をテーマとして、産学公連携によるコンソーシアムの協働活動により、地域と一体となった魅力ある高校づくりに取り組むことで、活力ある地域づくりに貢献するとともに、郷土への誇りや愛着を醸成し、その良さを発信できる人材の育成に取り組みました。

福山高校では、普通科・商業科において、「福山みらい創業塾」をテーマに、産業界や行政等によるコンソーシアムを構築し、中山間地域特有の課題をフィールドワークや、オンラインによるワークショップを活用した高大接続による学習を進めることで、自発的で創造的な思考を持つ人材の育成に取り組みました。

本事業による地域を題材とした探究的な学びや地方創生に向けた取組は、一定の成果を得ることができたと考えており、今後、この取組が地域に根づき、さらなる充実が図られることを期待します。

最後に、本事業の実施に御協力いただきました関係各位に感謝申しあげるとともに、各学校においては地域と協働した教育活動をより一層進めるよう、よろしくお願い申し上げます。

令和6年3月

高校教育課長 紺屋 宏 昭

